

迎合主義と規範が大学デビューに与える影響*

奥村壮太郎^a, 小野里慎悟^b, 小坂理世^c

2023 年 1 月 16 日

要約

本研究では大学デビューに着目し、「大学デビューを支持する規範が強く迎合主義の傾向が強いほど大学デビューをする」という研究仮説を立てた。大学生を対象にしたアンケート調査で得られた 328 件の有効回答について片側検定で 70 個の重回帰分析を行った結果、22 個の研究仮説に整合的で 10%以下の有意水準で有意な結果を得ることができた。また有意な結果を得られた世界観と経済行動、規範と経済行動の関係から、大学デビューには迎合主義と関連が深いものと規範と関係の深いものに分けられることがわかった。今後の研究でさらに強い研究仮説への支持が得られれば、大学生に特有の消費行動の分析につながり、大学生特有の消費財のマーケティングに応用できると考える。

JEL 分類番号 : D9

キーワード : 世界観, 迎合主義, 規範, 大学デビュー

*本稿は、行動経済学会第 16 回大会で報告した「迎合主義と規範が大学デビューに与える影響」を加筆修正したものである。毎週の研究活動の中で、大垣昌夫氏、岩見優志氏、齋喜菜帆氏、内藤陽香氏からありがたいフィードバックをいただいた。ここに記して感謝を申し上げます。

a 奥村壮太郎 慶應義塾大学経済学部 k2.ryo.sotaro.0514@keio.jp

b 小野里慎悟 慶應義塾大学経済学部 onoshin@keio.jp

c 小坂理世 慶應義塾大学経済学部 rise_kosaka@keio.jp

1. イントロダクション

誰しも大学生になってから一度は、「大学デビュー」という言葉を聞いたことがあるのではないだろうか。高校時代に地味で目立たなかった人が、大学生になって数ヶ月で派手な格好になっている。このことを揶揄するような場面で「大学デビュー」という言葉が使われるのを、筆者は何度か耳にしたことがある。そこで我々は大学デビューの定義を明確化させたうえで、そもそもどのような人がどんな理由で大学デビューを行うのかに興味を持った。

高校生のときと比較して、大学生になって以降は、周囲の環境や人間関係が大きく異なっている。高校時代の身だしなみや行動のまま大学生活を送り続ける者とそうでない者がいるなかで、後者に共通する性質について着目した。本研究では、自分の主義主張をはっきり持たず、周囲の意向を受け入れる人々や、所属するコミュニティ内で、大学デビューすることが好ましいと考えられている人々こそ、自分の周囲の環境に順応していき大学デビューすると仮定した。そして、そのような順応を通して、自身が持つ大学生像へと変貌していき、その結果として、大学デビューをしていくのではないかと仮説を立てた。

本研究では、「迎合主義の傾向が強い人ほど、または大学デビューを支持する規範が強い環境にいる人ほど大学デビューをする」という研究仮説をもとに、迎合主義の世界観を持つ人々と、規範を重んじる人々の、高校時代と比較したときの大学での行動について調査した。ここでの迎合主義は、「自分の主義主張をはっきり持たず、周囲の意向を受け入れ、それに合わせるような世界観」とする。そして、ここでの規範は、「所属するコミュニティ内で、大学デビューすることが好ましいと考えられているか」とした。また、本研究において大学デビューとは、「高校生の頃と比較して、大学入学以降に見た目や言動を変化させ、自身が持つ大学生像に近づこうとする行為」とであると定義する。

迎合主義に近い言葉として、「大衆迎合主義」がある。「大衆迎合主義」とは、有権者を「エリート」と「大衆」に分けたうえで、2つを対立する集団と位置づけ、「大衆」の権利こそ尊重されるべきだと主張する政治思想を指す。その一方で、本研究の世界観である「迎合主義」は、自分の主義主張持たず、周囲の意向を迎え入れ、それに合わせるような思考傾向を指している。なおこの場合の周囲は、多数派の意味である。

本研究の意義は、大学生に特有の消費行動の分析につながり、大学生特有の消費財のマーケティングに応用できることであると考えられる。例えば本仮説が将来の研究でさらに強く支持されたとき、春先に迎合主義を惹きつけるような広告を打てば、ヘアセット剤やメイク道具を効率良く売ることができると予想することができる。

2. 研究方法

研究方法として、アンケート調査を行った。Google Form で全 26 問のアンケートを作成し、Instagram や LINE 等の SNS を用いて拡散した。集計期間は 2022 年 9 月 3 日 17 時～2022 年 9 月 5 日 17 時の 48 時間で、大学生を中心に 329 件の有効回答を得た。なお本論文の末に全ての質問を載せた付録を添付した。

アンケートの冒頭で、性別と学年を尋ねた。質問 1～2 は経済統制に関する質問である。質問 3～8 は世界観である迎合主義の強度を測る質問で、全ての質問に対して「非常にそう思う」から「全くそう思わない」までの 6 段階の選択肢を用意した。以後質問 3,5～8 で聞いた世界観を各々世界観①～⑤とする。質問 4 で聞いた世界観を世界観⑥とする。本研究で使用する「世界観」の定義は、「ひとつの人々の集団が生活を秩序づけるために用いている、現実の性質についての認識、感情、判断に関する基本的な過程と枠組み」(Hiebert 2008, 訳語が大垣・田中, 2018 による)とする。質問 9 は規範に関する質問である。質問 10～24 は経済行動である大学デビューに関する質問で、高校時代と比較したときの、見た目に関する行動の変化や大学における立ち振る舞い等について尋ねた。質問 10～22 に関しては、先行研究(中臺 麗・石井 琴子・関 鋼二・泉水 紀彦 2016)から引用した。

回帰分析は重回帰分析を用いる。回帰分析の方法として、まず世界観については、「非常にそう思う」を 6、「全くそう思わない」を 1 として 6 段階評価で数値化し、質問 7 以外の全ての質問について、値が大きいほど迎合主義の傾向が強くなるように設定した。以後質問 3,5～8 で聞いた世界観を各々世界観①～⑤とする。迎合主義の定義は、「自分の主義主張をはっきり持たず、周囲の意向を受け入れ、それに合わせるような世界観」であり、「自分の主義主張をはっきり持たない」という前半部分と「周囲の意向を受け入れ合わせる」という後半部分が存在する。自分の主義主張があるかを聞く質問は質問 4 であり世界観⑥に対応する。周囲の意向を受け入れるかどうかの質問は世界観①～⑤で聞いた質問に対応する。そこで本研究の説明変数としての世界観は、世界観⑥に対して世界観①～⑤をかけた交差項を用いる。もう 1 つの説明変数として規範を用いる。アンケートでは自身が所属するコミュニティにおいて大学デビューが良しとされているかを聞いた。次に経済行動に関して、対人関係に関する項目については、「はい」か「いいえ」で答える二者択一の質問について「はい」の数を集計した。数が多いほど大学デビューをしている。以後「はい」の数をまとめた数値を経済行動①とする。外見や流行への興味関心に関する項目については、「とても当てはまる」を 6、「全く当てはまらない」を 1 として、6 段階評価で数値化し、こちらも大学デビューをしているほど値が大きくなるよう設定した。以後この項目についての経済行動をアンケートで聞いた順に経済行動②～⑤とする。その他、外出時の身支度にかかる時間の変化や飲み会の出費については、相場に見合った尺度で設定し、こちら

も大学デビューをしているほど値が大きくなる。これを経済行動⑥～⑦とする。世界観を測る質問から得られたデータと、可処分所得及び規範を測る質問から得られたデータと、大学デビューが良しとされているかの規範を説明変数、経済行動に関する質問から得られたデータを被説明変数として重回帰分析を行なった。

3. 研究結果

今回のアンケート結果を数値化し、平均値、標準偏差、最大値、最小値、中央値、サンプル数の記述統計量を計算した。表1より、標準偏差や最大値や最小値の値からサンプルの値が十分に分散していることがわかる。

表1 記述統計量

	平均	標準偏差	最大値	最小値	中央値	サンプル数
世界観①（他人からアドバイスを、吟味するか鵜呑みにするか）	3.936	1.348	6	1	4	n=328
世界観②（自分の意見をはっきり持ち、他人に強く主張するか）	3.657	1.393	6	1	4	n=328
世界観③（コミュニティ内イベント参加の投票において、内容に依らず、周囲の票に同調するか）	3.31	1.519	6	1	3	n=328
世界観④（SNSで友人のある映画に関する投稿を頻繁に見かけます。その映画の内容についての情報がない場合でも、その映画を見ようと思えますか？）	2.517	1.386	6	1	2	n=328
世界観⑤（留学先の環境に合わせて身だしなみを変えるか）	2.547	1.416	6	1	2	n=328
世界観⑥（周囲に合わせて携帯の機種変更をするか？）	3.614	1.51	6	1	4	n=328
経済行動①（人間関係）	4.474	2.22	9	0	4	n=328

経済行動②（どの程度ファッションに力を入れているか）	3.976	1.186	6	1	4	n=328
経済行動③（オシャレなエリアやお店に出かけているか）	3.742	1.356	6	1	4	n=328
経済行動④（流行を気にして情報を集めているか）	3.377	1.317	6	1	3	n=328
経済行動⑤（新しいヘアスタイルにチャレンジしているか）	3.278	1.556	6	1	3	n=328
経済行動⑥（高校生と比べ大学生になって、外出のために身なりを整える時間は増えたか）	4.824	2.115	8	1	5	n=328
経済行動⑦（1ヶ月でどれくらいのお金を飲み会にかけるか）	3.334	1.839	7	1	3	n=328

両側検定で重回帰分析における有意水準 10%以下で有意な結果を表に示した。

表 2 重回帰分析結果 A

被説明変数 (経済行動)	統制 (規範 or 経済状況)	説明変数 (世界観)	係数
経済行動④	規範	世界観①	0.0667**
経済行動②	規範	世界観③	0.0625*
経済行動④	規範	世界観③	0.0950***
経済行動④	規範	世界観④	0.1138**
経済行動⑤	規範	世界観⑤	-0.0745**
経済行動②	規範	世界観⑥	0.0567*
経済行動④	規範	世界観⑥	0.0938***

注) 片側検定において, ***有意水準 1%, **有意水準 5%, *有意水準 10%で有意であることを表す。

表 3 重回帰分析結果 B

被説明変数 (経済行動)	統制 (世界観 or 経済状況)	説明変数 (規範)	係数
経済行動①	世界観①	規範	0.2923***
経済行動⑥	世界観①. 経済状況	規範	0.3585***
経済行動⑦	世界観①	規範	0.1509*
経済行動①	世界観③	規範	0.2908***
経済行動⑥	世界観③. 経済状況	規範	0.3511***
経済行動⑦	世界観③	規範	0.1532*
経済行動①	世界観④	規範	0.2813***
経済行動⑥	世界観④. 経済状況	規範	0.3723***
経済行動⑦	世界観④	規範	0.1522*
経済行動①	世界観⑤	規範	0.2873***
経済行動⑥	世界観⑤. 経済状況	規範	0.3612***
経済行動⑦	世界観⑤	規範	0.1473*
経済行動①	世界観⑥	規範	0.2888***
経済行動⑥	世界観⑥. 経済状況	規範	0.3579***
経済行動⑦	世界観⑥	規範	0.1483*

注) 片側検定において, ***有意水準 1%, **有意水準 5%, *有意水準 10%で有意であることを表す.

4. 考察

重回帰分析の結果、「迎合主義の傾向が強い人ほど、または大学デビューを支持する規範が強い環境にいる人ほど大学デビューをする」という研究仮説について、研究仮説に整合的で有意である結果が得られた。

有意な結果が得られた世界観と経済行動の組み合わせと、規範と経済行動の組み合わせを比較する。経済行動②（ファッション）と経済行動④（流行感度）の質問については、二つ以上の世界観の質問に対して有意な結果を得られた。経済行動①（人間関係）、経済行動③（出かけるエリア）、経済行動⑥（身だしなみ）、経済行動⑦（飲み会）の質問については一つも有意な結果を得られなかった。規範については、経済行動①（人間関係）、経済行動⑥（身だしなみ）、経済行動⑦（飲み会）の質問について、全ての規範の質問に対して有意な結果が得られた。経済行動②（ファッション）、経済行動③（出かけるエリア）、経済行動④（流行感度）、経済行動⑤（ヘアスタイル）に関する経済行動の質問については、一つも有意な結果を得られなかった。つまり、世界観と規範で有意な結果が得られた経済行動は異なっている。この結果より、大学デビューという経済行動には規範の影響を受けるものと迎合主義の影響を受けるものがあり、そのどちらか一方の影響を受けるといことが考えられる。具体的には経済行動②④は世界観の影響を強く受けた大学デビューで、経済行動①⑥⑦は規範の影響を強く受けた大学デビューであると考察できる。

次に、この要因について考察する。経済行動は7つあるが、②③④⑤と①⑥⑦で分けることができる。②③④⑤は、ファッション、出かけるエリア、流行感度、ヘアスタイルに関する質問で、概して流行に対して順応するかというものである。これは、ある程度大きい括りの社会の中で認識されている流行に合わせるか、という類の迎合である。具体的には、絶えず変わる流行をキャッチアップして、ファッションやヘアスタイルを変えたり、情報を集めたりすること、またオシャレなエリアに行くことが該当する。一方で①⑥⑦は人間関係、身だしなみ、飲み会に関する質問で、社会で決められた基準という類の経済行動であり、自身の主義とは別で何らかのメリットを考えた結果の行動だ。次に、この二種類 of 迎合についてそれぞれ世界観と規範で有意な結果を得られた背景について考察する。まず、世界観に対して有意な結果を得られたのはファッションと流行感度に関する経済行動である。この2つの経済行動に関して迎合主義が強く影響する理由は、ファッションと流行感度に関する経済行動の特徴にあると考えた。先に述べたように、この二つの経済行動はある程度大きい括りの社会の中で認識されている流行に合わせる、という類の経済行動である。流行は流動的に変化する。この類の経済行動が迎合主義と強く関係を持つ理由として、迎合主義の人が迎合する対象は身近な周囲の人であり流動的に変わるものに合わ

せることが多いからなのではないかという予想を立てた。一方で規範に対して有意な結果を得られている経済行動は、人間関係に関するものと身だしなみにかかる時間と飲み会に使う金額についてである。この3つの経済行動に関して、大学デビューを支持する規範が影響する理由は、経済行動の特徴にあると考えた。規範の影響を受けて行動する理由は、その規範に合わせることにコミュニティ内で浮かない安心感や、非難されるリスクの回避に繋がるといったメリットがあるからである。つまり個人の主義や主張の有無に関わらず、規範に合わせること自体にメリットを感じ選択・行動している。そのため、世界観にしたがって行動することに比べて一定程度努力を要するものだ。次に身だしなみを整える時間や飲み会に使う金額は、他の経済行動に比べ経済的メリットに直結しやすいものが多い。まとめると、規範が影響する大学デビューの行動は、自身の主義に依らない努力を要するものか、経済的メリットに関係しやすいものである。規範の影響を受ける大学デビューは経済的なメリットに起因していることが予想できる。

経済行動③（オシャレなエリア）と経済行動⑤（ヘアスタイル）に関して、流行に順応するという経済行動に分類したものの、世界観、規範ともに有意な結果を得られなかった。オシャレなエリアに出かけるか、新しいヘアスタイルに挑戦するかという2つの質問の聞き方が悪かったと予想した。オシャレなエリアに行くかどうかの質問は、「オシャレ」という言葉が主観的で、客観的に行動を聞くことができていることが原因であると考えられる。ヘアスタイルに挑戦しているかという質問は、「挑戦」という言葉に問題があると考えた。大学デビューにおけるヘアスタイルの変化は、自分が思う大学生像のヘアスタイルに変えることであり、必ずしも新しいヘアスタイルに挑戦し続けることを指すわけではない。よって、ヘアスタイルに挑戦し続けているかは大学デビューという経済行動を適切に聞くことができていると考えた。

5. 結論

迎合主義の世界観と規範から大学生デビューに関する経済行動を分析した結果、研究仮説に整合的で有意な結果を得ることができた。また有意な結果を得られた世界観と経済行動、規範と経済行動の関係から、大学デビューには迎合主義と関連が深いものと規範と関係の深いものに分けられることがわかった。出かけるエリアとヘアスタイルに関する経済行動について有意な結果が得られなかったが、質問の聞き方が良くなかったことが原因であると考えた。今回迎合主義の迎合する対象を多数派と定めたが、現実生活ではその場に依じて迎合する対象を変えることが多い。そのような対象の区別を細かく行いながらのさらなる調査を進めていきたい。また今回の研究で、大学デビューは大学生に特有の消費

行動と似た性質を持っているのではないかという疑問が生じた。今後は大学生特有の消費行動についてさらに研究することによって、大学生が利用しやすい消費財のマーケティングに応用できるのではないかと考えた。例えば、今回大学デビューには規範に強く影響を受けるものと迎合主義に影響を強く受けることがわかったが、そのことを利用して次のような応用ができると考える。流行りのアパレル製品を売りたい場合、迎合主義にとって魅力的な広告を打つことができれば効率良く製品を売ることができる。「みんなが使っている！」というように周囲の人が使っているような文言を使うといったものである。

付録 アンケート質問票

質問 1. 高校生のとき、1ヶ月間で自由に使うことができた金額を教えてください。(生活費を除く、交際費や趣味に使う金額) (“半角数字のみ”) 例 30000

記述解答

質問 2. 大学生になってから、1ヶ月間で自由に使うことができた金額を教えてください。(生活費を除く、交際費や趣味に使う金額) (半角数字のみ) 例 30000

記述解答

質問 3. あなたは他人からアドバイスをもらうとき、どのような態度をとることが多いですか？

鵜呑みにせず、吟味する-----素直に受け取る

123456

質問 4. あなたは自分の意見をはっきり持って、他人に意見をしっかり主張しますか？

自分の意見を通すことが多い-----周囲に合わせるが多い

123456

質問 5. コミュニティ内イベント参加の投票をするとき、内容が伝えられていなくても、みんなが参加していたら「参加する」に投票しますか？

全くそう思わない----非常にそう思う

123456

質問 6. あなたは、最近 SNS である映画を見たという友人の投稿を頻繁に見かけます。その映画の内容についての情報がない場合でも、その映画を見ようと思いますか？

全くそう思わない----非常にそう思う

123456

質問 7. あなたは元々、日本の大学にきちんとした身だしなみで通っていたとします。海外の大学に留学して、周りの学生がラフな格好で通学する環境になった際、あなたはきちんと

とした身だしなみで通学しますか？

全くそう思わない----非常にそう思う

123456

質問 8. スマートフォンの機種に関して、元々A という機種を使っていましたが、周りの人の多くが B を使っているとします。機種変更の機会があった場合、A から B に変更しますか？

全くそう思わない----非常にそう思う

123456

質問 9. あなたの所属するコミュニティでは、大学デビューすることは好ましいと考えられていますか？

非常に好ましくない----非常に好ましい

123456

以後の質問について、自分に当てはまる方を選んでください。「周囲と比べて」ではなく、「高校時代の自分と比べて」の場合において、大学生になってからの自分について該当するものを選んでください。

質問 10. 自分が目立つようにふるまっている。

はい----いいえ

質問 11. 異性に積極的に話しかけている。

はい----いいえ

質問 12. 同級生や先輩（後輩）に好意をもたれるように努力している。

はい----いいえ

質問 13. 大学で彼氏/彼女を作るために努力している。

はい----いいえ

質問 14. 新しい友人ができるように努力している。

はい----いいえ

質問 15. 新しいスポーツ、趣味等を始めたことを積極的に話題にする。

はい----いいえ

質問 16. 友人にオールをしようと誘っている。

はい----いいえ

質問 17. 新しいグループに入っている。（同好会、クラブ、etc.）

はい----いいえ

質問 18. 飲み会やイベントに積極的に参加している。

はい----いいえ

質問 19. ファッションに力を入れている.

とても当てはまる/当てはまる/どちらかという当てはまる/どちらかという当てはまらない/当てはまらない/全く当てはまらない

質問 20. オシャレなエリアやお店に出かけている .

とても当てはまる/当てはまる/どちらかという当てはまる/どちらかという当てはまらない/当てはまらない/全く当てはまらない

質問 21. 流行を気にして情報を集めている.

とても当てはまる/当てはまる/どちらかという当てはまる/どちらかという当てはまらない/当てはまらない/全く当てはまらない

質問 22. 新しいヘアスタイルにチャレンジしている.

とても当てはまる/当てはまる/どちらかという当てはまる/どちらかという当てはまらない/当てはまらない/全く当てはまらない

質問 23. 高校生から大学生になって、外出のために身なりを整える時間(服, アクセサリー, 髪) はどれほど増えましたか?

質問 24. あなたは1ヶ月でどれくらいのお金を飲み会に費やしていますか?

引用文献

Hiebert, P.G. (2008). *Transforming Worldviews: An Anthropological Understanding of How People Change*, Baker Academic

中臺 麗・石井 琴子・関 鋼二・泉水 紀彦, 2016. 『大学デビュー行動が適応感に及ぼす影響の検討』

大垣昌夫・田中沙織, 2018. 『行動経済学』, 有斐閣